

高安詰所だより

第8号

立教185年

8月20日



「草、とり放題」

記念期間中に境内地の草を引いていると、家族連れがやってきた。日中の一番暑い時だった。お母さんは子供達の耳元で何かをささやいた。すると小学校に上がった位のお姉ちゃんが、目を輝かせて草むらを目指して一目散に駆けだした。つられて幼い弟達も転げるように駆けていった。草むらに着くとお姉ちゃんは、弟たちに向かってこう叫んだ。

「みんな、ここの草、とり放題だよ！」

すると弟たちも「ワイイ、ヤッター」と言つて、まるで潮干狩りでもしているかのように、楽しそうに草を引きだした。芝生も雑草もお構いなく、無心に草を引いてはビニール袋に詰め込む幼い姉弟達の姿に、焼けつく暑さも忘れ、ほっこり爽やかな気持ちになった。たくさんの子供達がひのきしんに参加してくれ、元気一杯走り回っているなかで（私の孫も）、こんなカンカン照りの中も、大人達に交じって無心にひのきしんする幼い子供達を見て、お母さんが何をささやいたかは知る由もないが、素敵に子育てされておられるなあと感じさせられた。



詰所行事予定(九月)

四日 詰所常会

おちば伏せ込みひのきしん

八日 にをいがけ実動

十一日 勤務者修練Ⅰ

十三日 おつとめ勉強会

十七日 直轄祭参拝(大教会)

二十日 勤務者修練Ⅱ

二十三日 大教会月次祭参拝

二十四日 大教会秋季霊祭参拝

二十五日 月例朝礼

二十六日 本部月次祭参拝者受入れ

二十七日 本部秋季霊祭参拝者受入れ

二十八日 全教一斉ひのきしんデー

詰所の動き



団 参

「全教会からの帰参」という大教会の

打ち出しに対し、期間中の帰参者総数

は実に七千名を越え、三百十一ヶ所の

全部内教会のうち、二百八十五ヶ所の

教会が団参でお帰り下さいました。い

よいよこれから迎える「教祖百四十年

祭」三年千日の年祭活動への準備にも拍車がかかりました。

別席者

記念期間の僅か一ヶ月余りの間に、「おさづけの理拝戴者」十三

名、「初席者」百三十二名、「中席者」二百二十七名、計三百五十

九名もの方々がお運び下さいました。これから迎える年祭活動の

中で、今回「守護頂いた初席者を中席者に、そして中席者はおさ

づけの理拝戴にまで成人して頂き、教会の力となって頂けますよ

うご(丹精下さることを願います。



お礼のおつとめ

毎日午前十一時半から東礼拝場でつとめられました「お礼のおつとめ」に、期間を通して大変大勢の方々にご参拝下さいました。大教会長様、奥様も御教務の合間を縫って、ほぼ毎日礼拝場に足を運ばれ、おちばがえりの大切さをお話し下さり、参拝者お一人おひとりに労いの言葉をおかけ下さいました。

毎日おちばひのきしん

記念日当日を含め、期間中に約三千七百名の方々が、おちばひのひのきしんに伏せ込み下さいました。真夏のおちばひの暑さは大変なものでしたが、ありがたいことに時折吹き抜ける爽やかな「おちばひの風」のおかげで、誰一人「熱中症」にもなることもなく、心地よくひのきしんさせて頂くことができました。

教祖へのお供え物

折角おちばひに帰らせて頂くのだから、教祖にお喜



び頂けるお土産をと、期間中毎日、交代で心を込めた御供え物

をお届けさせて頂きました。これまで部内各教会から、直接教祖のもとへ御供えをお届けすることはあまりなかったもので、これを機に、これからも教祖殿にお届け下さればと思います。

修養科「第九七二期」近況

記録的な猛暑に加え、コロナの再拡大と、強烈なダブルパンチにもめげることなく、高安の第九七二期修養科生十八名は、真夏のおちばひで頑張っています。教養掛の山尾、安川両先生の熱心なご指導、ご丹精の下、互いに励まし合いたすけ合い一手一つに修養に励まれています。今は、今月二十八日に大教会でつとめさせて頂く「門出式」に向け、おつとめの仕上げの段階に入っています。三ヶ月の成果を親神様、教祖にご覧頂きお喜び頂こうと、皆さん一生懸命頑張っておられますので、どうぞこの日には所属の教会の皆様も是非大教会神殿での理の子さん方の晴れ姿、成人した姿をご覧下さいますようお願い申し上げます。

アンケート抽選発表

記念期間中に詰所を御利用頂いた方々を対象にアンケートをお願いしたところ、実に百七十通を越える回答を頂き、貴重なご意見も多数お寄せ頂きました。できること、できないことは無論ありますが、大いに参考にさせて頂き、今後の詰所運営の上に、できる限り反映させ頂きます。尚、回答下さった方には、「詰所オリジナルグッズ」進呈とお知らせしておりましたが、去る八月四日の詰所の「常会」の場に於きまして、担当者らの見守る中、厳正なる抽選会が行われ、次の方々が見事幸運を手になされました。

・教祖お入り込み百四十周年記念「ロゴ入り掛時計」

藤本稔明様（高津・高邦）

河野千恵子様（都南・南浜）

平田真一様（紀北・日東紀）



・高安詰所食堂オリジナル「手作りラー油」（小瓶）

松本克己様（難波・本波） 清水博美様（東龍・龍住）

宮倉典揮様（芝白金）

・ 同 「手作り柚子胡椒」（小瓶）

今市さつき様（都南・南一城） 北井 滋様

（八尾・都武） 曾我昌男様（東明・明駿）



編集後記

教祖お入り込み百四十周年も無事終了した。七月二十五日までの期間中の帰参者、ひのきしん者、別席者、全てに於いて近年に例を見ない素晴らしいご守護を頂戴した。この勢いをもって、「教祖百四十年祭」三年千日の年祭活動に勇んで向かわせて頂こう。

発行 天理教高安大教会信者詰所

発行者 芦田孝廣

印刷 天理市守目堂町二五五番地